

事業所名		東京YMCA PIT西早稲田		公表日 2025 年 6 月 2 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・教室やプール以外にも館内の空いている教室や屋上でも活動し、スペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・同施設内に他事業部の職員にも緊急時などの際に連携を取って対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			・バリアフリーについては、エレベーターで補っているが、点字ブロックや掲示については、改善を検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎回閉室後に、使用した玩具等の消毒、室内の清掃、点検を実施しています。 ・利用者の活動や特性、プログラム内容に応じて、手洗い場や荷物置き場、机・椅子の配置を工夫し、安全に活動できる環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・教室の隣の面談室を普段、着替えやクールダウンをするスペースとして利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・月1回のスタッフミーティングの中で意見交換を行い、改善について方法を検討して実施しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・スタッフミーティングで内容を確認し、改善案を話し合い業務につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・月1回のスタッフミーティングに加え、スタッフの意見交換をする時間を別に設けて、個々の意見を把握し、業務につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		・第三者外部評価の実施については検討しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・東京都開催の研修に出席したり、事業所内で研修を実施しています。	・今後民間主催も含め、外部研修についても情報を収集して、参加を検討していきます。 ・非常勤講師への研修の機会を増やせるように努めます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・個別支援計画の5領域の内容は、東京YMCAのホームページで公開しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・入会説明時に、利用者と保護者のニーズを聞き取り、把握に努めています。また、入会後も利用者の観察、日々の保護者との情報共有、年2回の保護者面談での情報も踏まえて、支援計画に反映できるように努めています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・スタッフミーティングの中で、支援計画内容について複数の目で分析し、意見交換を行い、対応を検討した上で作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・支援計画を利用者に関わるスタッフと共有し、支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	・保護者から提出された他機関で行われた心理検査、知能検査等の結果を参考にしています。 ・PIT西早稲田では、検査を実施することはできませんが、同法人内の公認心理士によって、有料で検査を実施することは可能です。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・支援計画に「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」と項目を分けて、ねらいや支援内容を設定しています。家族支援では、保護者からの相談を元に、各ご家庭の状況に応じた支援内容を検討して対応しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・複数の職員で意見を出し合い、検討して立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・水泳は、年2回着衣水泳を実施しています。 ・教室では、野菜の栽培、工作、集団遊びなど季節感も取り入れてプログラムを実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・水泳や教室では、利用者一人ひとりの状況や特性を把握した上で、個別および集団での活動内容を調整し、支援計画を作成・実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・毎回、事前打ち合わせの時間を持ち、当日の支援内容や役割の確認、前回の支援からの引継ぎを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・毎回、支援終了後に振り返りの時間を持ち、情報共有と支援の方法について検討しています。記録を取り、次の支援前にも確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・個別に記録を取り、スタッフミーティングで検証し、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・水泳では、年4回泳力の確認テストを実施して、計画の見直しを行っています。 ・教室では、日々の振り返りを基に、個々の様子に合わせて時期を設定して行っています。	・2025年度は、3カ月に1回、モニタリング期間も設けて、利用者全員を同時期に行うようにします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・季節や学校の予定を考慮しながら、 ①自立した日常生活に必要な生活習慣の習得や社会性の育成、②創作活動、 ③地域交流の機会、④余暇の提供を組み合わせ支援を行っています。特に①と④は、日々の療育に積極的に取り入れるよう努めています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・プログラムの中で、複数の選択肢を設けて、自ら選んで活動に参加できるように努めています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児童発達支援管理責任者、又は管理者が参画しています。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	・学校や他の放課後デイサービスや相談支援事業所と連携体制を取っています。今後も必要に応じて、協力して参ります。	・地域の保険、医療については、連携が希薄な傾向にありますので、まずは、協力医療機関などからアプローチしていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3	・学校が開催する担当者連絡会に参加して情報を共有しています。 ※利用者の個人情報に関わる内容については、保護者の確認を得た上で連絡を取り合っています。	・利用者が在籍する全ての学校と連絡は取り合っていない。保護者から情報を得ると共に、必要に応じて事業所から学校へ連絡を入れて確認する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		6		・小学校1年生を受け入れる機会がなく、情報共有をすることが正直ない状況です。今後、1年生を中心に低学年を受け入れる際には情報共有に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・ご本人と家族の同意の上、希望された範囲で情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		・利用者の支援につながる地域の専門機関との連携を築く努力をしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・2024年度3月に特別行事として参加希望者を募り、近隣の児童館に遊びに行く企画を実施しました。	・利用者や保護者の希望をリサーチしながら、近隣学童クラブや児童館の季節行事活動に参加する機会を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	・協議会からのアンケートに答えて、参加の意思を伝えましたが、その後連絡が途絶え、今回は参加につながりませんでした。	・今後も機会があれば、前向きに参加を検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時や電話、メールを活用して連絡を取り合っています。 ・状況に応じて、支援計画面談とは別に利用者を交え、対面での面談を実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		・2024年度開催を検討した「卒室生の保護者から話を聞く会」を2025年度は実施に向けて検討・準備をしています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・入会説明時に対面で説明を行い、その後も変更があった場合はその都度お便りやメールで連絡をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・個人面談を年2回対面で実施して、利用者や保護者の意向を確認しています。その上で、複数の職員で検討して支援計画を作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・前期、後期と半年ごとの個人面談の中で保護者と一緒に支援計画を見ながら振り返り、意向についても確認して、同意を得ています。交付後の相談、修正も行っております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・相談内容を丁寧に聞き取り、家族の状況を把握して、共に考える時間を持ちながら助言や提案等の支援をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・利用日ごとに保護者会を開催して、職員を交えて保護者同士が情報交換する場を設けています。	・例年、夏まつりに保護者を招待しているが、出席率も低い傾向にあります。きょうだいも含め、参加しやすい内容を企画していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・利用者や保護者からのご意見、情報を速やかにスタッフで共有し、検討の上、対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月、通信を発行して活動内容や連絡事項をお知らせしています。臨時や急な変更内容などは、電話やメールを活用して伝えています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報に関する書類は、鍵付きの部屋にある鍵付きの書庫で管理しています。 ・パソコンのデータは法人のルールの下、厳重に管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・利用者や保護者の気持ちにより添いながら対応に努めています。 ・送迎時、またはメールや電話で連絡、相談、報告をして丁寧な対話を心掛けています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・施設全体で毎年秋に「やまてのまつり」を開催し、地域住民や他のプログラム参加者と共に、楽しむ時間を持っています（2024年度は11月に開催）。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・マニュアルは、ファイルで閲覧できるようにし、保護者にも、メールにて配信しています。 ・防犯に関しては、館内全体の防犯体制に準じて対応しています。	・昨今の自然災害や防犯などマニュアルに応じて想定されるケースの増加に伴い訓練や確認、見直しの機会も増やしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・教室は年3回避難訓練（一時避難場所までは年1回）を実施しています。 ・プールは年2回避難訓練を実施しています。	・昨今の自然災害や感染症対策を踏まえ、職員訓練や内容確認、見直しの機会も増やしていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・入会時、個人票に記入を保護者に依頼して、書面で提出していただき確認しています。 ・てんかん発作などについては、さらに詳しく状況を聞き取り、対応しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・入会時に食物アレルギーの確認をしています。 ・プログラムで、おやつを購入して食べる企画などの時は、食物アレルギーのある利用者の保護者に事前に再確認の上、実施しています。 ※基本的に食事、おやつの提供はしていません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・毎年4月に施設職員全体での安全研修や訓練を実施しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・入会説明の際に通所経路を含め、確認をしています。 ・緊急時の保護者の連絡先や引き取り者等を事前に確認にして、連携が取れるようにしています。	※昨今の自然災害に備え、書面での提出の徹底をしていきます。ご協力お願い申し上げます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・事例の報告書を作成して、職員間で情報共有し、事故防止の対応策も検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・東京都の研修に参加しています（2024年度参加）。 ・内部では職員全体での研修を年1回実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・安全確保（自傷、飛び出しなど）のために行うとして、職員間で具体的なケースについて対応の検討をしています。対応策については、保護者に提示して、了承を得た上で支援計画に記載して、同意を得ています。また、身体拘束をした場合には、保護者に報告をしています。	